

○9月23日(土)に木曾町文化交流センターで、9月27日「信州 火山防災の日」制定を記念した、御嶽山噴火災害から学び、県内の他の火山における取組等を紹介するシンポジウムが開催されました。

○多治見砂防国道事務所からは御嶽山の立体模型を用いた溶岩流出シミュレーションや、災害現場を明るく照らし、夜間作業を支援する照明車の展示等を行い、多くの方々に興味を持って頂けました。

<実施概要>

■日程

令和5年9月23日(土)

○メインプログラム

《第一部》

- ・ 10:00~10:15 開会式典
- ・ 10:20~10:50 基調講演
「火山噴火の特徴と噴火予知の現状を踏まえた火山災害の課題」
- ・ 11:00~12:00 パネルディスカッションⅠ
「御嶽山噴火災害の伝承と県内他火山への波及拡大」

御嶽山噴火災害の当時の状況を改めて共有し、教訓を踏まえた現在の火山防災対策を県内他火山へ波及させることについて、コーディネーター・パネリストとの間で意見交換を行いました。

- ・ 12:00~12:10 「信州 火山防災の日」記念日登録証授与式
- ・ 13:00~14:00 県内火山の研究発表

《第二部》

- ・ 14:10~14:50 御嶽山地域における取組の紹介
- ・ 14:30~15:30 パネルディスカッションⅡ
「過去の火山現象と火山防災教育から火山との共生を考える」

過去の火山噴火の伝承や火山防災教育の取組、火山の魅力を交えた火山との共生のあり方について、意見交換を行いました。

- ・ 15:40~16:00 総括
- ・ 16:00~16:05 閉会

■感想

本シンポジウムでは、火山噴火の発生原理や火山防災の課題等、専門知識の少ない方々でも分かりやすい内容から、県内他火山(浅間山など)の火山研究成果や火山防災の実施状況など専門的なものまであり、とても勉強になりました。当事務所の展示についても、多くの方々に興味を持って頂けました。



パネルディスカッションⅠの様子

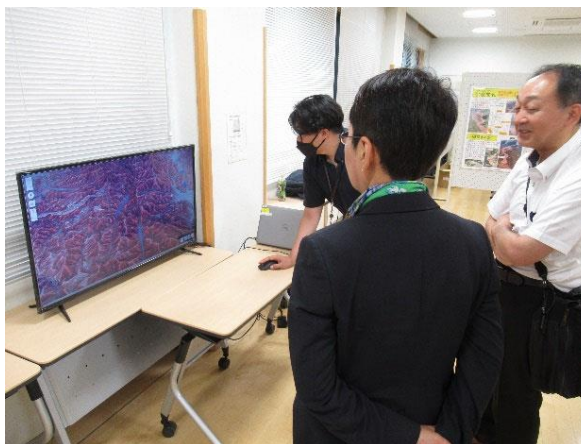
<ブースの様子>



「信州 火山防災の日」記念日登録証授与式
(左:一般社団法人日本記念日協会 代表理事 右:長野県知事)



赤色立体模型
(溶岩流に見立てた赤い液体の流下を観察)



御嶽山周辺の赤色立体図データ
(モニターを操作して周囲の地形を確認)



照明車展示
(展示パネルを併設)